

福祉科「生活支援技術」授業実践紹介

授業者：稲岡 未来子

学年：3年（福祉選択者）

単元名：利用者も介護者も笑顔になれる移動・着脱介護ってどんなの？

単元のねらい

- ①今まで学習してきた移動・着脱の介護の原則に従って介護することができる。
- ②利用者の気持ちを考えて利用者も介護者も納得できる介護をすることができる。
- ③グループの提案について、聴き手にわかりやすく発表することができる。

単元の流れ（全6時間）

①ワークシートの情報から利用者はどのような人が想像します。

②利用者の課題とその支援方法を考えます。
③実際の介護場面の流れをイメージします。

【和気閑子さん】
80歳 女性 脳梗塞の後遺症による左半身麻痺。
歩行は杖で自立している。 軽度の認知症あり。
日常会話は問題なくできる。
一人暮らし 息子夫婦、孫は近くに住んでいる。

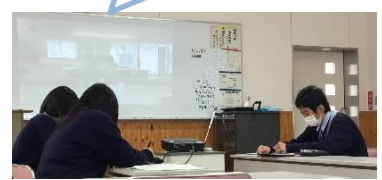


④配役を決めて、練習します。
⑤介護実演をして iPad で撮影します。



⑥原稿を考え、発表準備をします。
⑦動画を流しながら発表します。

介護実演の動画



介護者役

利用者役

授業のルーブリック

【発表部分】

	A	B	C
【利用者理解】 ①利用者が着替えや入浴を嫌がる理由を想像し、 ②介護に反映できているとわかった。	①○ ②○	①○ ②×	①× ②×
【ポイント説明】 ①②について介護のポイント動画を動画の場面を示しながら説明できた。 ①着替えや入浴の意義を理解してもらう ②できる限り自分で行ってもらう。	①○ ②○	①○ ②×	①× ②×
【発表技術】 相手に伝わるように、①大きなはっきりとした声で、 ②具体的に発表した。	①○ ②○	①○ ②×	①× ②×

単元を通して身につけてほしいこと

介護は利用者の生活を支援します。「移動の介護」、「衣服の着脱介護」といったように、断片的なものではありません。実際の生活場面を想定した介護技術を考え、実践し、その実践について、根拠をもって発表できる力を身に付けてほしいと考えています。

単元終了後の生徒の変容

生徒のコメントに「自分のできるところは自分で行う支援ができていた。」というものがありません。授業に取り組む生徒の様子も目標を達成しようと努力していました。介護とは断片的なものではなく、実際の生活の支援であることを理解してくれたように思います。

実践の背景

- 「生活支援技術」は「福祉」の科目の一つです。本校では2年生で「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」、3年生で「コミュニケーション技術」「生活支援技術」を選択することができます。高齢者、障がいがある方を中心に、すべての人が生活に幸福感を感じて暮らすためにどのような支援ができるか学びます。
- 3年生の「生活支援技術」では様々な介護技術を学び、介護を将来の職業の選択肢の一つと捉えたり、実際の生活で活かしたりできるようになってほしいと思っています。

授業改善のアプローチ

- 実際の生活場面の一部を想定することで、よりリアリティのある介護支援を行うことを目標にしました。
- 発表に動画を取り入れることで、自分たちの介護を客観的に見て欲しいと考えました。
- グループでどのような介護にするか話し合うことで、考えを深めてもらいたい思い、グループ活動を設定しました。

単元の授業場面

単元の構成

第1次 (2時間)	第2次 (2時間)	第3次 (2時間)
パフォーマンス課題とその評価を提示し、共有する。利用者像のアセスメントを行い、利用者の課題とその支援方法を考える。実際の介護場面の流れをイメージする。	配役を決めて介護実演の練習をする。その後、介護実演をiPadで撮影する。自分たちが考えた介護のポイントを意識する。	発表原稿をまとめ、グループごとに発表する。評価は相互評価とする。終わりに、パフォーマンス課題のまとめを行う。

パフォーマンス課題

あなたはデイサービスセンター「Smile Rainbow」(通所介護事業所)の介護福祉士です。今日は和気閑子さんに入浴をしてもらう日です。和気さんは、食堂でテレビをみています。10時半になり、和気閑子さんの入浴のタイミングになりました。しかし、和気閑子さんはいつも入浴や着替えを嫌がります。和気閑子さんに、着替えや入浴の意義を理解してもらい、脱衣場に移動して入浴するための脱衣をできる限り自分で行ってもらえるようにするにはどうすればよいか考え、実演したのち、ポイントを説明してください。(実演をiPadで撮影し、動画を流しながら説明してもらいます。)

評価

前述した発表評価に加え、介護実演、一枚ポートフォリオ等も評価の対象とした。

【介護実演】

	A	B	C
【あいさつ4点】 ①目線を合わせて ②4点すべて説明できた。	①○ ②4点○	①× ②2～3点○	①× ②1点○or×
【利用者理解】 利用者の嫌がる理由に①耳を傾け、 ②共感した。	①○ ②○	①○ ②×	①× ②×
【着替え・入浴の意義説明】 ①利用者が納得できる。 ②具体的な説明だった。	①○ ②○	①○ ②×	①× ②×
【介護の原則】 ①「立位3点」 ②「杖・患・健」 ③「脱健着患」の原則を守った。	①○ ②○ ③○	①～③3つのうち2つ○	①～③3つのうち1つ○or×
【安全・安楽】 利用者に①無理な負担がなく、②安全で安楽な介護を行った。	①○ ②○	①②のどちらか×	①× ②×
【自立支援】 ①自分でできるところは自分でできるよう声をかけながら、 ②自立を支援した介護をした。	①○ ②○	①いくつか○ ②○	①すべて× ②全介助